

第5回 長岡京市上下水道事業審議会

日 時：令和6年5月30日（木）

午後2時00分から

場 所：長岡京市役所 第1委員会室（新庁舎5階）

次 第

1. 開会

2. 議題

(1) 見直し後の投資・財政計画（収支計画）について（下水道事業）…資料1

(2) 長岡京市上下水道ビジョン中間見直し改訂版（案）について …資料2

3. 閉会

【下水道事業】 人口普及率、有収水量

現状と課題

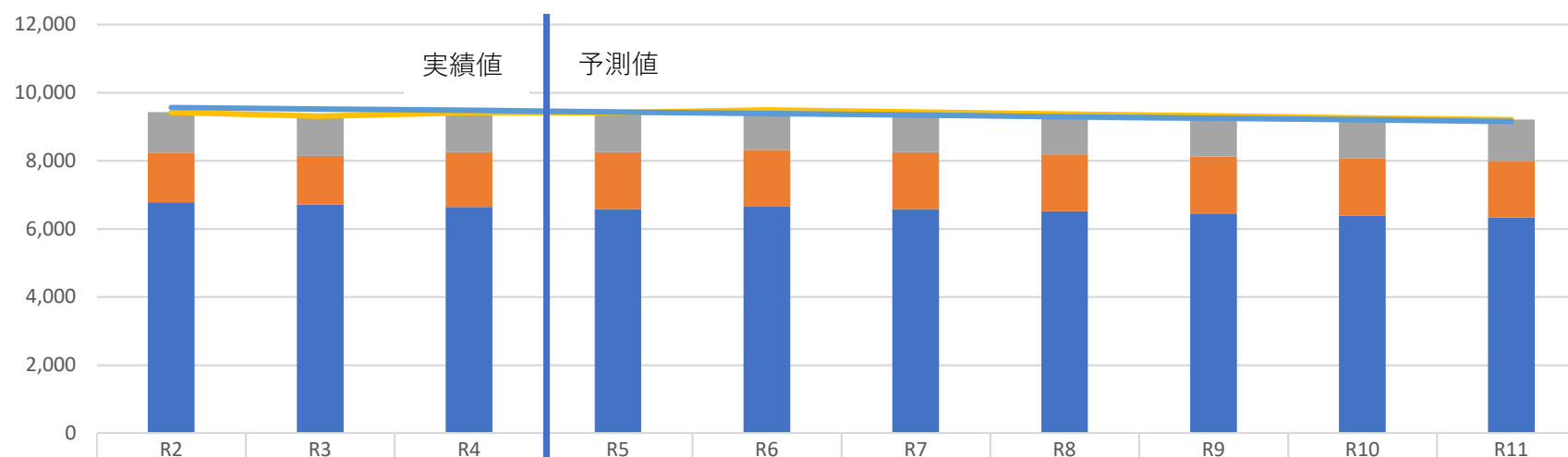
- ① 人口推移は水道事業同様、ビジョンの推計よりも微増となっている。また、人口普及率は令和4年度から99.9%に達しており、普及エリアの拡大による水量の増加はない。
- ② 下水道事業は、水道事業の給水メータ値を排除量としているため、原則的に水道事業と同様の増減となる。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大によるステイホーム（生活様式の変化）が、家庭用排除量の増加とともに工場用及び営業用の排除量の減少を引き起こしたが、令和4年度から従来の有収水量に戻り始めている。
- ③ また、下水道事業では大口（工場等）において井戸水の利用があることから、通常の給水メータ値のほかに、井戸水を使用し、排除した水量は別途請求する仕組みとなっている。このため、大口企業の生産量増加に従って、水道給水量以上の有収水量の増加が発生する場合があります、令和5年度現在も好調となっている。

人口普及率、有収水量の予測値の考え方

- ① 人口は現在、一般的な人口減少傾向とは異なり、本市は微増を続けている。しかし一方で、有収水量は減少傾向がみられることから、人口増減は横ばいを基準とし、有収水量のみの動向を基準とした水量予測を行った。
- ② 人口減少が横ばい、微増を保ちつつも、有収水量は家庭用にて微減傾向がみられるが、接続先によって傾向が異なるため個別に予測を行っている。
例えば、一般家事用（戸建て）の場合は節水志向がみられることから毎年1.4%の減少を見込み、集合家事用（マンション）では新規接続の増加などにより毎年0.3%の増加を見込んでいる。
- ③ 下水道事業の場合、有収率は有収水量（実際に請求した水量）を流域下水道汚水処理水量（実際に汚水処理された水量）で割った数値となっており、つねに処理水量が多いことから不明水（地下水などの侵入水）の予測に基づいて算出している。
- ④ 大口5社のうち、最大手が生産量を拡大し続けていることから、この先5年間も現状通りの排除量があるとして予測している。
- ⑤ 有収水量は令和2年度から令和6年度までは計画値をやや下まわり、令和6年度以降は上回ると予測しているが、令和7年度からの後期計画期間においては全体として減少傾向にあるという予測をしている。

① 汚水有収水量の実績・将来予測と上下水道ビジョン比較

単位：千 m³



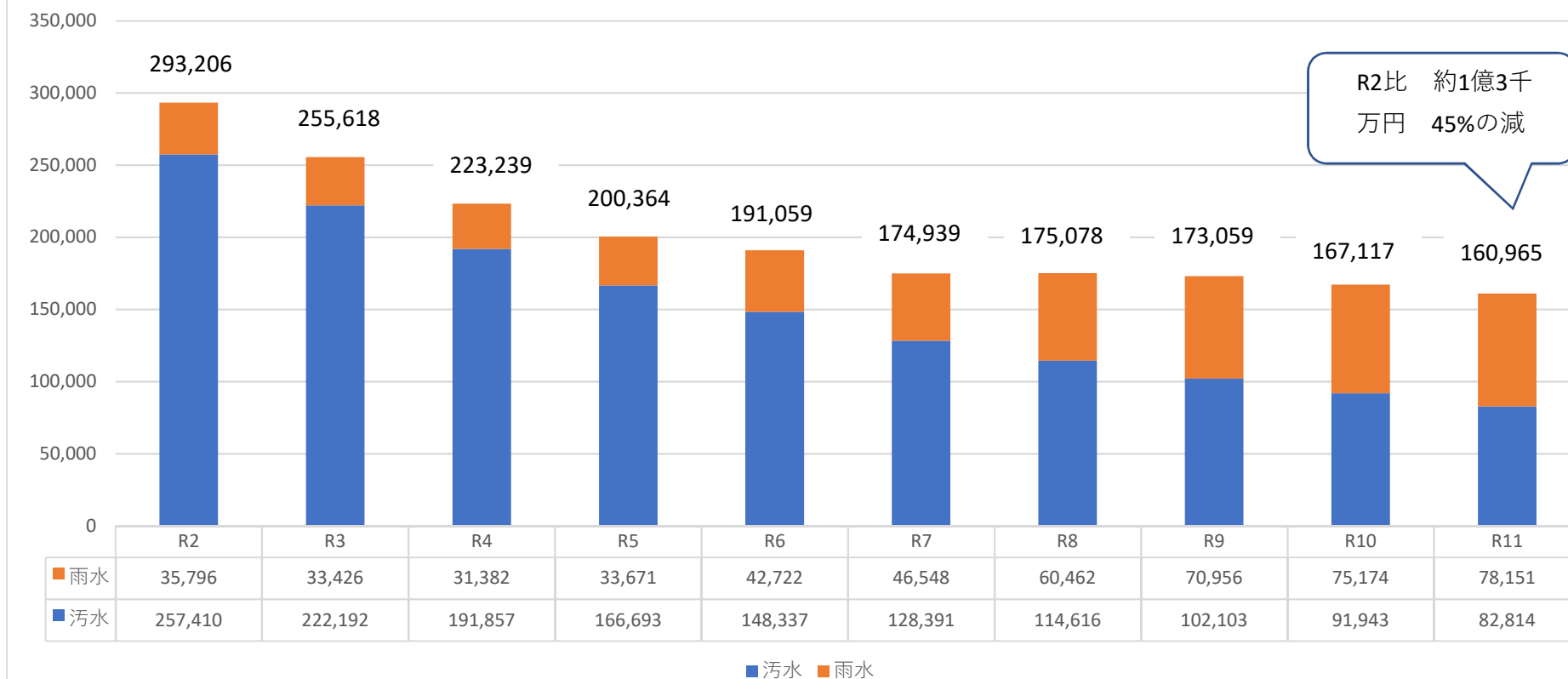
※ 計画水量は上下水道ビジョンの計画水量

■ 家庭用 ■ 工場用 ■ 営業用ほか ■ 合 計 ■ 計画水量

- 令和2年度から令和4年度の実績値（水量）は、コロナ過での社会経済活動減速により工場用、営業用で計画水量を下回った
- 人口の推移は、微増の状況が続いており令和5年度(82,258人)でのビジョン計画値（80,759人）比は1,499人の増となっており、上下水道ビジョン策定時の人口推移を上回っている。家庭用も計画水量を上回って推移している
- 中間まとめ時点での令和7年度以降の予測水量値としては、令和6年度をピークに、以降、緩やかな減少傾向となる予想
- 令和5年度予測（当初予算）と実績値では約29千m³の減となったが、令和6年4月期での前年度比では約12千m³の増となった
- 後期期間（令和5～令和11年度）での水量の傾向は変わらないものと推察するが、毎年度の評価・検証は必要と考える

② 下水道事業 利子償還の推移

単位：千円



利子	R11	R2	差	増減
雨 水	78,151	35,796	42,355	118.3%
汚 水	82,814	257,410	-174,596	-67.8%
計	160,965	293,206	-132,241	-45.1%

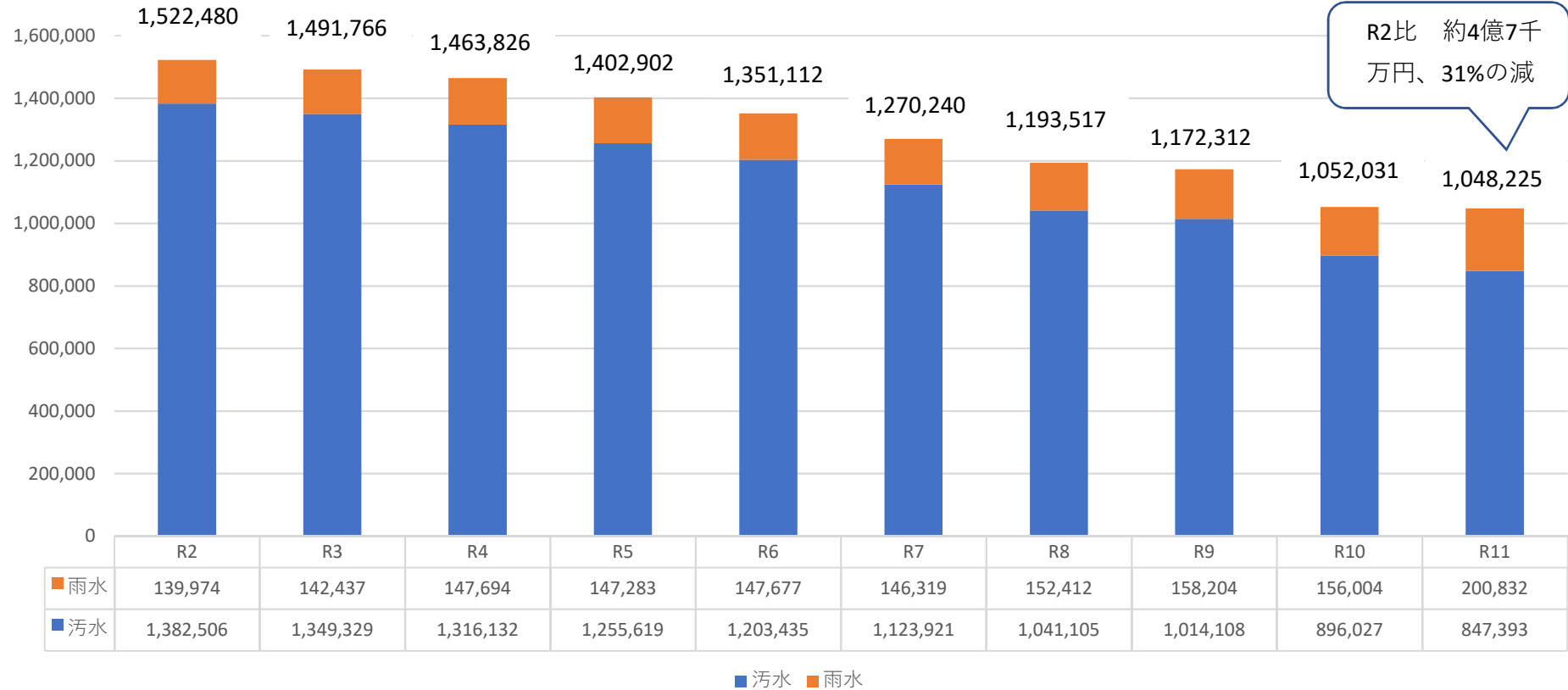
参考→

元金	R11 - R2差	増減
雨 水	60,858	43.5%
汚 水	-535,113	-38.7%
計	-474,255	-31.2%

- 汚水事業は、面的整備は終了し建設時借入額の多くが償還済となってきていることから、利子償還額が大きく減少
- 雨水事業は、全国的に頻発している豪雨災害に備え、浸水対策を強化しており、今後、しばらく投資額が増えていくことから、雨水利子償還割合は上昇していく

③ 下水道事業 元金償還の推移

単位：千円



元金	R11	R2	差	増減
雨 水	200,832	139,974	60,858	43.5%
汚 水	847,393	1,382,506	-535,113	-38.7%
計	1,048,225	1,522,480	-474,255	-31.2%

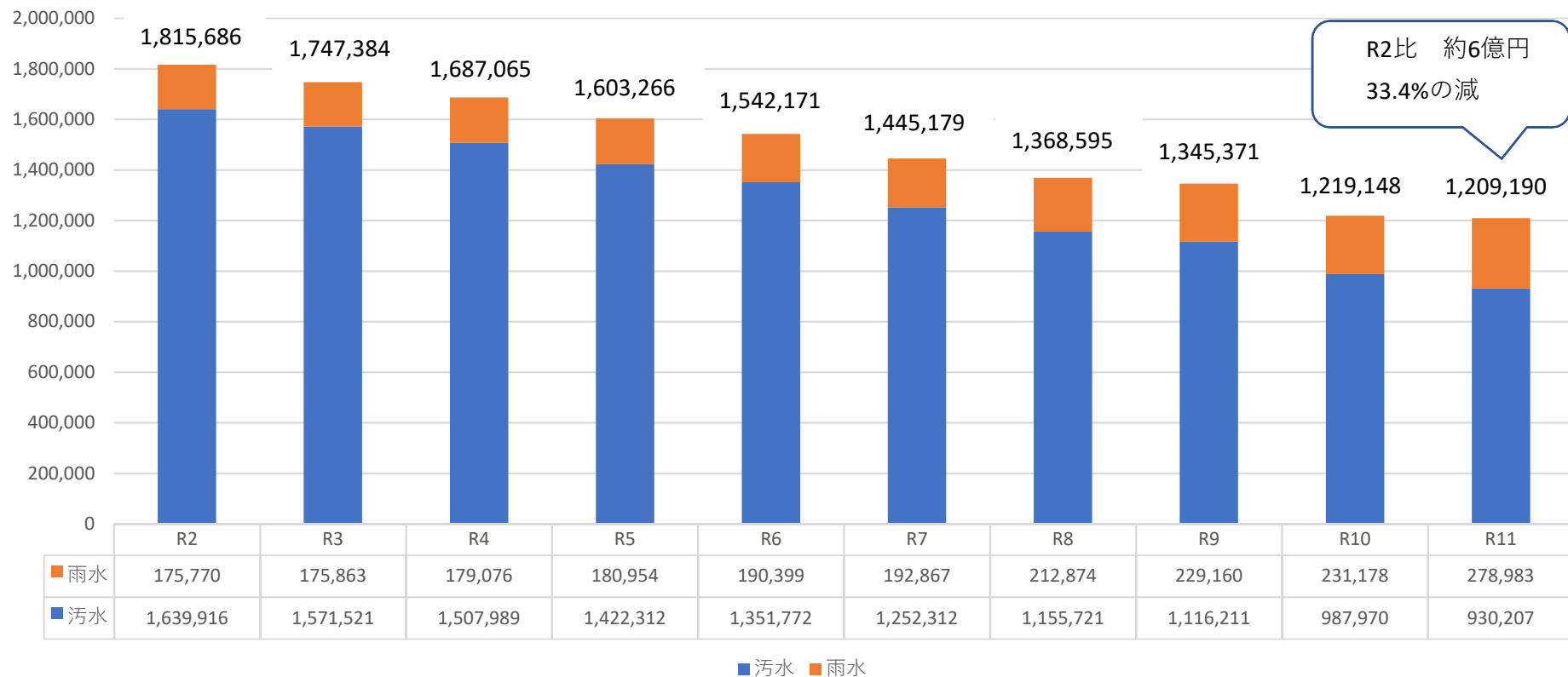
参考→

	利子	R11-R2比	増減
雨 水	42,355		118.3%
汚 水	-174,596		-67.8%
計	-132,241		-45.1%

- 元金償還においても、汚水減少傾向、雨水上昇傾向となっている。汚水減少幅が少ないのは、企業債が元利均等払いのため、償還期間が後期となっているものが多くなっているものと推測される

④ 下水道事業 元利償還の推移

単位：千円

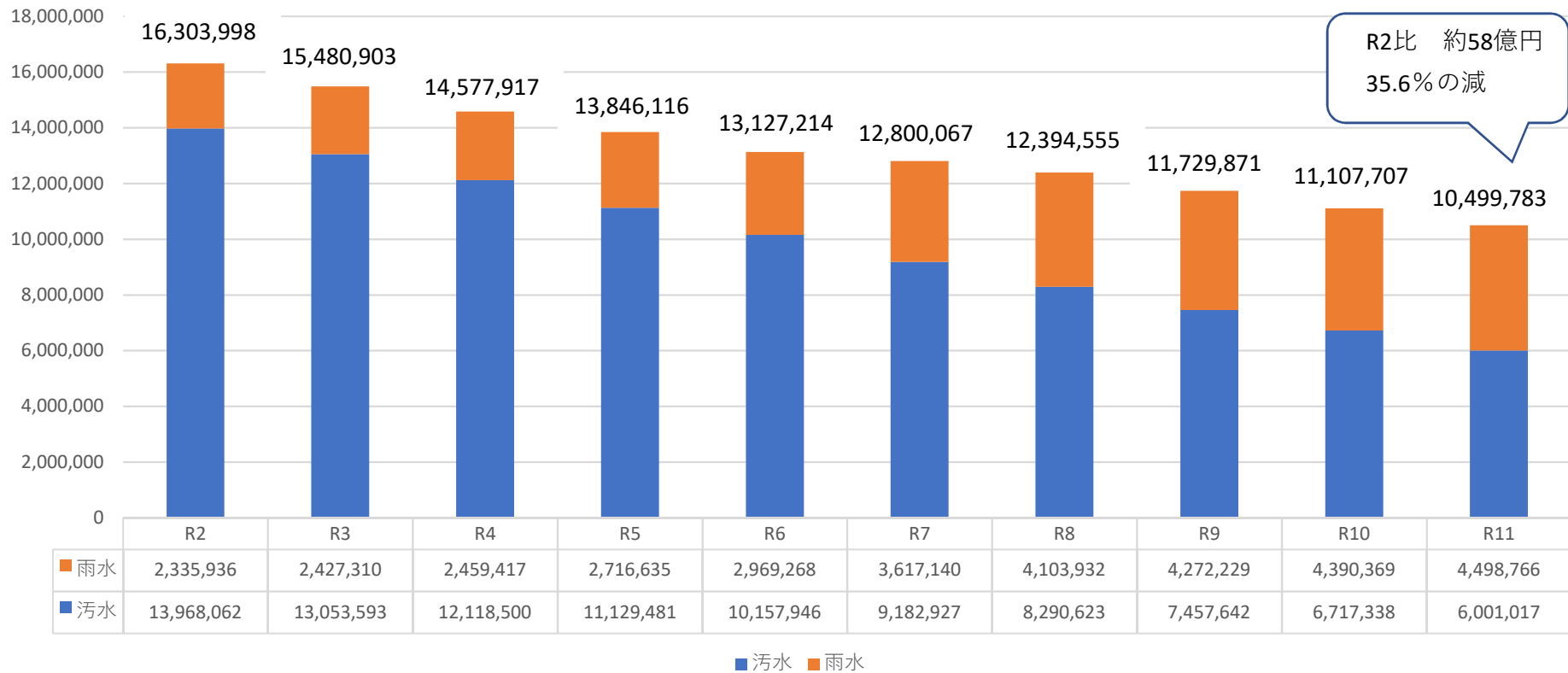


元利	R11	R2	差	増減		R11	R2
雨 水	278,983	175,770	103,213	58.7%	総 事 業 費	2,759,793	2,891,610
汚 水	930,207	1,639,916	-709,709	-43.3%	うち元利償還額	1,209,190	1,815,686
計	1,209,190	1,815,686	-606,496	-33.4%	割 合	43.8%	62.8%

- 下水道事業会計において、令和2年度では総事業費の約63%が元利償還に充てられていたが、R11では約44%と大きく減少していく
- 特に汚水事業は使用料収入で運営する独立採算制が原則であり、適正な施設の維持管理更新に基づく運営を実施していく

⑤ 下水道事業 企業債残高の推移

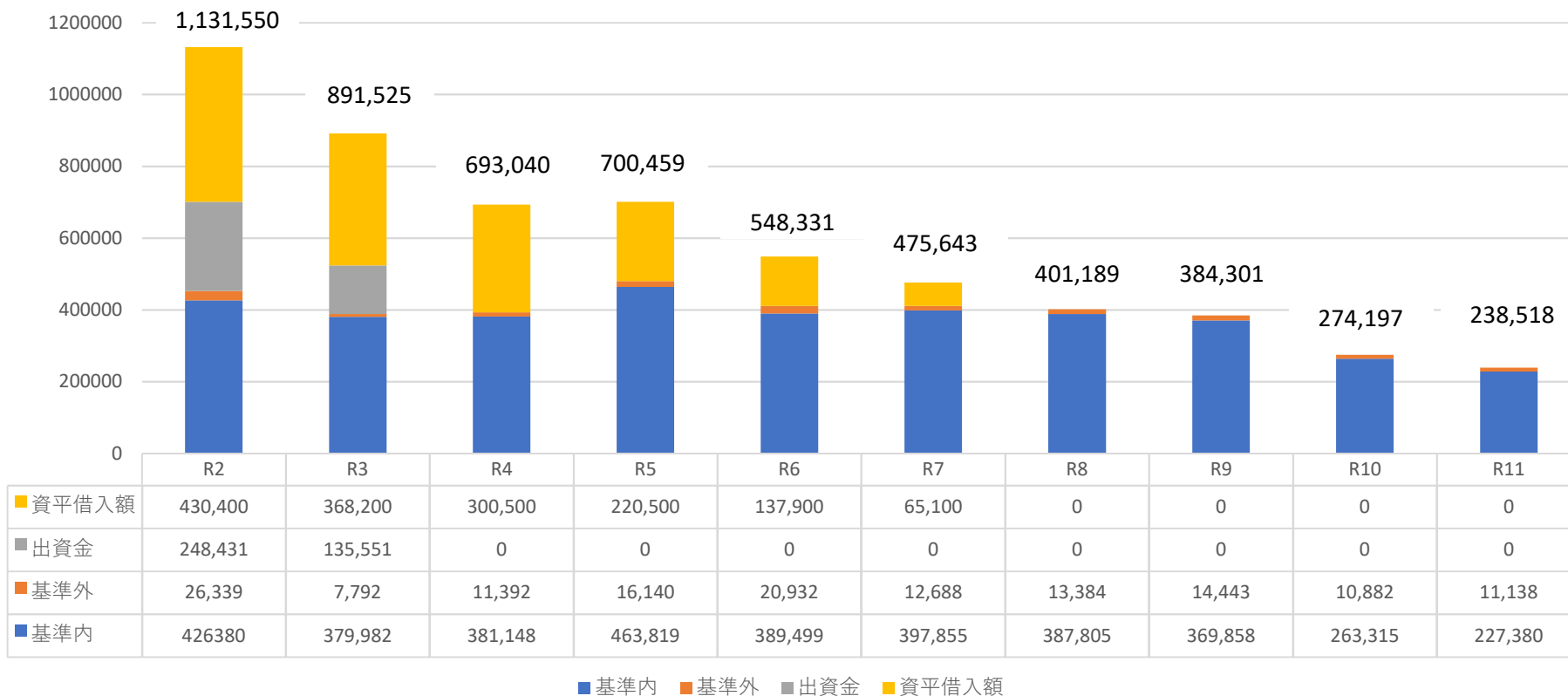
単位：千円



	R11	R2	差	増減
雨 水	4,498,766	2,335,936	2,162,830	92.6%
汚 水	6,001,017	13,968,062	-7,967,045	-57.0%
計	10,499,783	16,303,998	-5,804,215	-35.6%

⑥ 汚水 一般会計繰入金・資本費平準化債借入額の推移

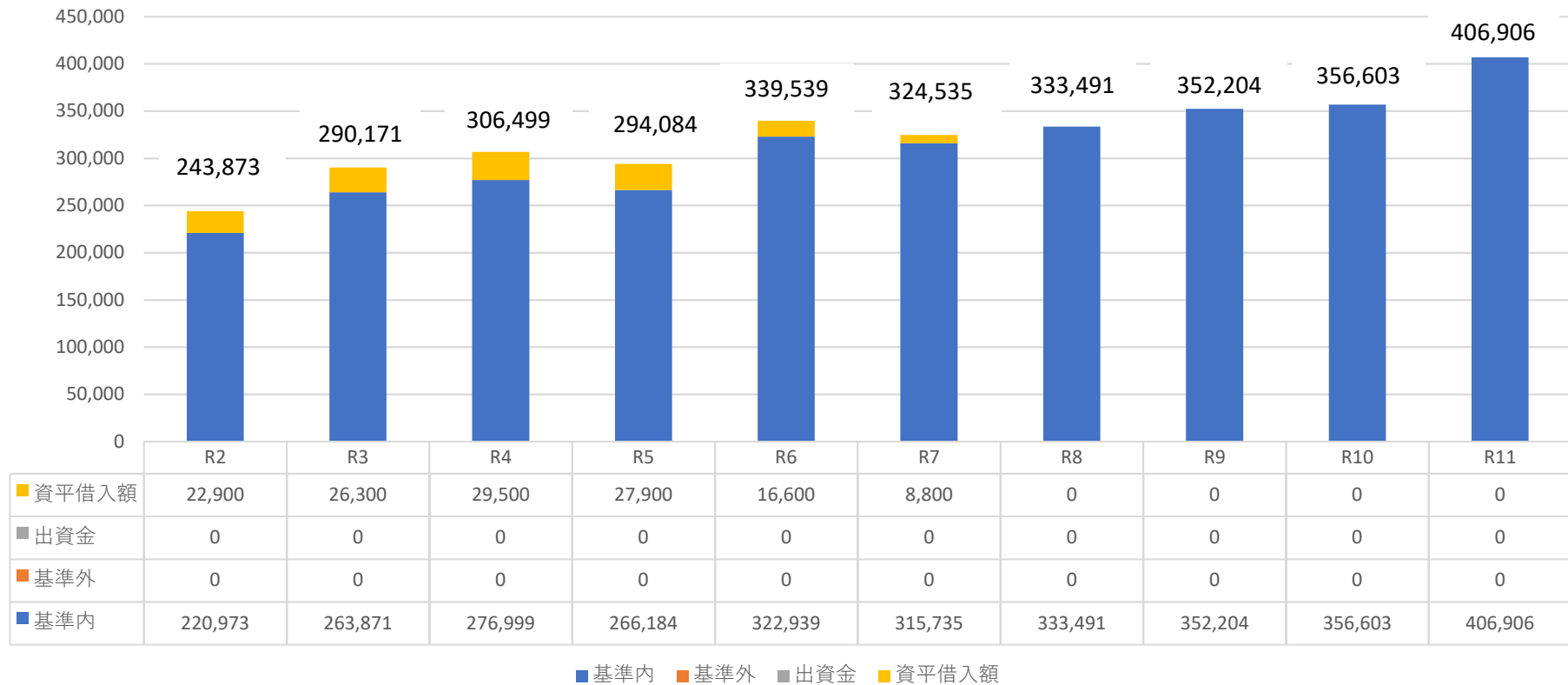
単位：千円



汚水	R11	R2	差	増減率	入	使用料収入額の増	245,078
繰入金のみ	238,518	701,150	-462,632	-66.0%	出	元利償還額の減	-709,709
繰入金＋資平借入額	238,518	1,131,550	-893,032	-78.9%		流域維持管理負担金の増	57,981
使用料収入額	1,526,545	1,281,467	245,078	19.1%	R11の対R2差		-896,806
流域維持管理負担金	596,854	538,873	57,981	10.8%	繰入金＋資平借入金 差		-893,032

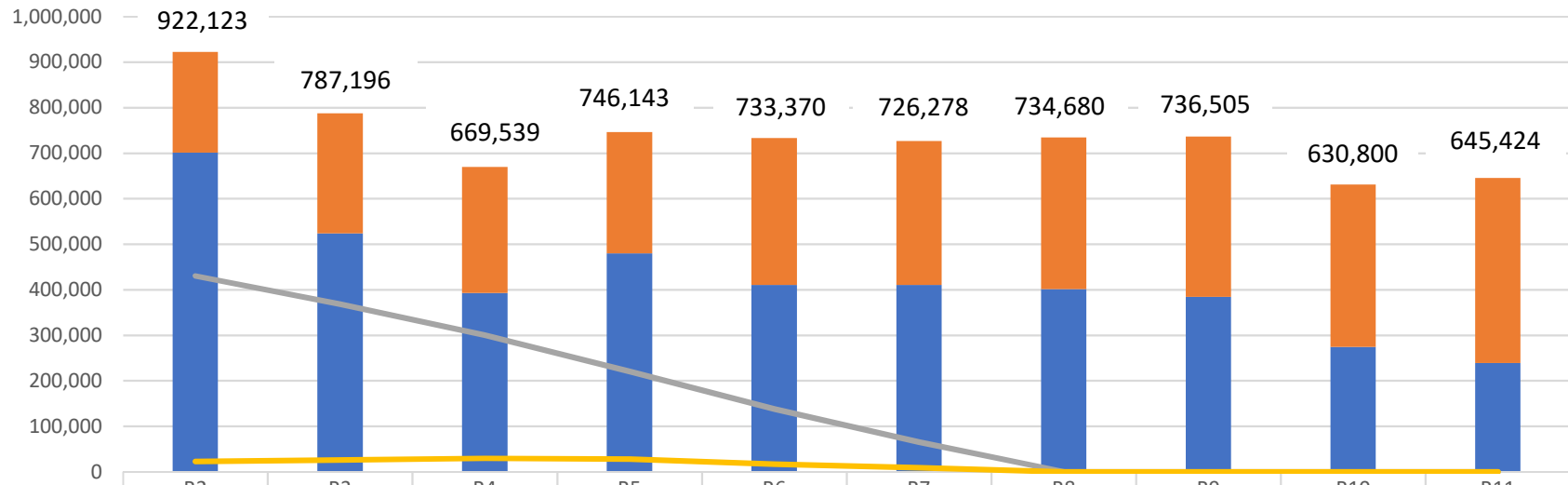
⑦ 雨水 一般会計繰入金・資本費平準化債借入額の推移

単位：千円



⑧ 下水道事業 一般会計繰入金・資本費平準化債の推移

単位：千円



雨水繰入金等	220,973	263,871	276,999	266,184	322,939	315,735	333,491	352,204	356,603	406,906
汚水繰入金等	701,150	523,325	392,540	479,959	410,431	410,543	401,189	384,301	274,197	238,518
汚水資平借入額	430,400	368,200	300,500	220,500	137,900	65,100	0	0	0	0
雨水資平借入額	22,900	26,300	29,500	27,900	16,600	8,800	0	0	0	0

■ 汚水繰入金等
 ■ 雨水繰入金等
 — 汚水資平借入額
 — 雨水資平借入額

区 分			年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
的 収 支	収 入	1. 営 業 収 益 (A)	13.60	14.82	16.26	15.91	16.70	16.54	16.59	16.94	16.91	17.17	
		(1) 下 水 道 使 用 料 収 入	11.64	12.60	14.07	13.72	14.23	14.04	13.97	13.90	13.84	13.77	
		(2) そ の 他	1.96	2.22	2.19	2.19	2.47	2.50	2.62	3.04	3.07	3.40	
		2. 営 業 外 収 益 (B)	15.80	15.23	15.57	16.44	15.48	15.40	15.25	15.46	14.43	14.06	
		(1) 補 助 金	4.05	3.58	3.73	4.59	3.86	3.90	3.79	3.60	2.53	2.16	
		うち 他 会 計 補 助 金 (基 準 内)	4.05	3.58	3.73	4.49	3.75	3.82	3.71	3.52	2.45	2.08	
		うち 他 会 計 補 助 金 (基 準 外)	0.00	0.00	0.00	0.10	0.11	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入	11.75	11.65	11.84	11.85	11.62	11.50	11.46	11.86	11.90	11.90	
		収 入 計 (A) + (B) (C)	29.40	30.05	31.83	32.35	32.18	31.94	31.84	32.40	31.34	31.23	
	支 出	1. 営 業 費 用 (D)	25.50	24.98	25.37	25.65	25.82	25.78	25.82	26.82	27.01	27.11	
		(1) 職 員 給 与 費	0.87	0.76	0.69	0.73	0.87	0.88	0.90	0.92	0.93	0.95	
		(2) 流 域 負 担 金	4.90	4.53	4.77	5.21	4.94	5.04	5.14	5.24	5.35	5.46	
		(3) 減 価 償 却 費	18.32	18.28	18.23	18.29	18.45	18.32	18.21	19.07	19.11	19.05	
		(4) そ の 他	1.41	1.41	1.68	1.42	1.56	1.54	1.57	1.59	1.62	1.65	
		2. 営 業 外 費 用 (E)	3.00	2.61	2.28	2.01	1.94	1.76	1.76	1.74	1.68	1.62	
		(1) 支 払 利 息 ほ か	3.00	2.61	2.28	2.01	1.94	1.76	1.76	1.74	1.68	1.62	
		支 出 計 (D) + (E) (F)	28.50	27.59	27.65	27.66	27.76	27.54	27.58	28.56	28.69	28.73	
		経 常 損 益 (C) - (F) (G)	0.90	2.46	4.18	4.69	4.42	4.40	4.26	3.84	2.65	2.50	
	特 別 損 益 (H)	1.19	▲ 0.01	▲ 0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (G) + (H)			2.09	2.45	4.17	4.69	4.42	4.40	4.26	3.84	2.65	2.50

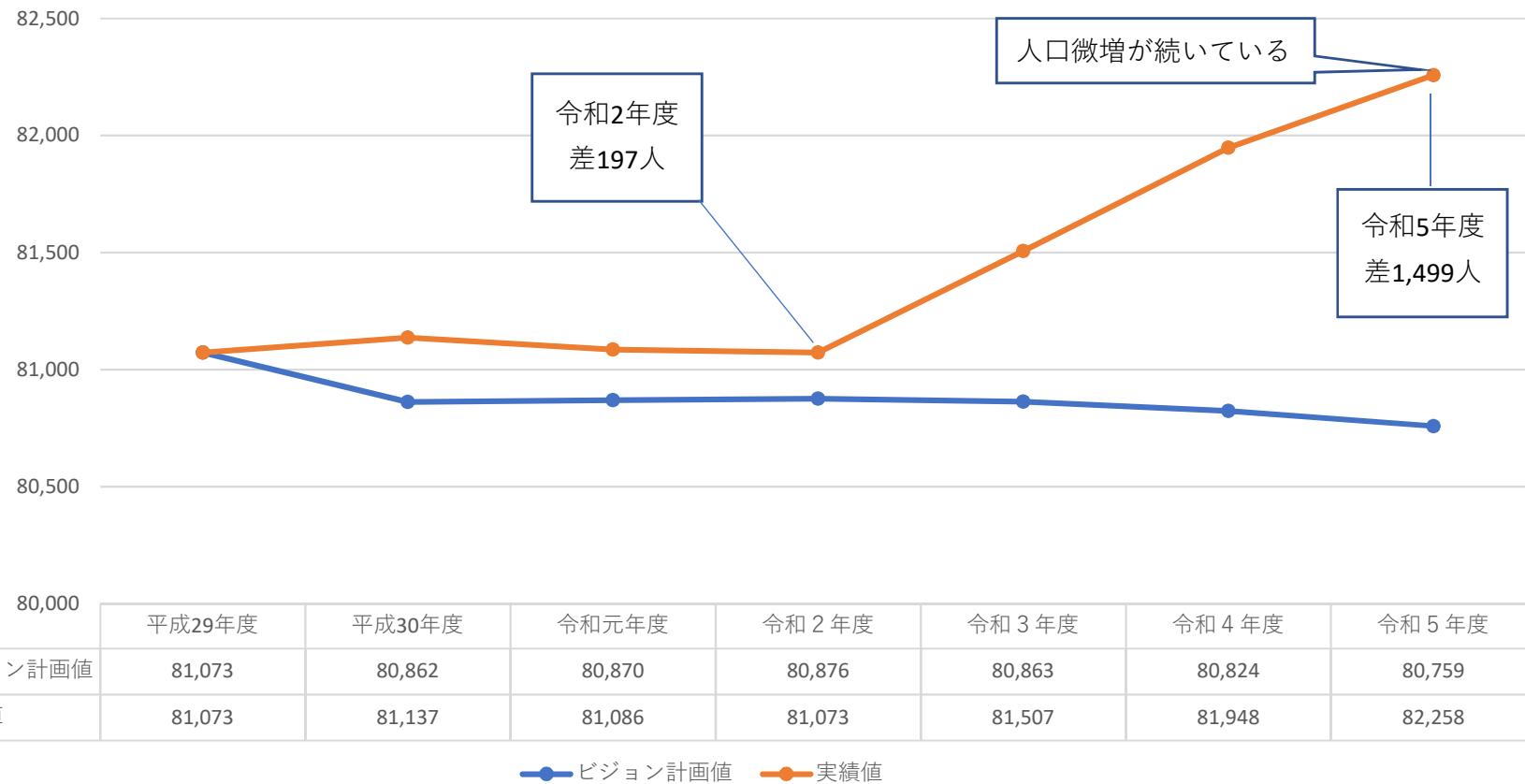
区 分			年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
資 本 的 収 入 支 出	収 入	1. 企 業 債	6.24	5.68	5.61	7.17	6.33	10.17	7.88	5.08	4.29	4.07	
		う ち 資 本 費 平 準 化 債	4.53	3.95	3.30	2.48	1.55	0.74	0.00	0.00	0.00	0.00	
		(上 記 の うち 汚 水 事 業 分)	4.30	3.68	3.01	2.21	1.38	0.65	－	－	－	－	
		2. 他 会 計 出 資 金	2.48	1.36	－	－	－	－	－	－	－	－	
		3. 他 会 計 補 助 金	0.95	0.88	0.99	0.86	1.18	1.02	1.10	0.88	0.87	1.05	
		4. 国 府 補 助 金	0.29	0.71	0.61	1.42	2.62	5.37	4.37	2.38	1.86	1.68	
		収 入 計 (A)	9.96	8.63	7.21	9.45	10.13	16.56	13.35	8.34	7.02	6.80	
	支 出	1. 建 設 改 良 費	2.48	2.93	3.57	6.66	8.26	15.42	12.74	7.97	6.64	6.24	
		う ち 汚 水 事 業 分	0.70	0.83	1.15	1.29	1.41	1.79	1.82	2.20	1.74	1.48	
		う ち 雨 水 事 業 分	1.78	2.10	2.42	5.37	6.85	13.63	10.92	5.77	4.90	4.76	
		2. 企 業 債 償 還 金	15.22	14.92	14.64	14.03	13.51	12.70	11.94	11.72	10.52	10.48	
		3. そ の 他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		支 出 計 (B)	17.70	17.85	18.21	20.69	21.77	28.12	24.68	19.69	17.16	16.72	
	資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (B)－(A)			7.74	9.22	11.00	11.24	11.64	11.56	11.33	11.35	10.14	9.92
企 業 債 残 高			163.04	154.81	145.78	138.46	131.27	128.00	123.95	117.30	111.07	105.00	
	う ち 汚 水 事 業 分		139.68	130.54	121.19	111.29	101.58	91.83	82.91	74.58	67.17	60.01	
	う ち 雨 水 事 業 分		23.36	24.27	24.59	27.17	29.69	36.17	41.04	42.72	43.90	44.99	

【財源試算の重点基準目標】※汚水事業のみ

区 分			年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
経 費 回 収 率 (％)				81.96	89.67	99.09	98.33	99.41	100.26	100.26	100.26	100.26	100.25
基 準 外 一 般 会 計 繰 入 金 (億円)				2.75	1.46	0.14	0.16	0.21	0.13	0.13	0.14	0.11	0.11
資 金 残 高 (億円)				2.06	1.34	1.97	2.96	0.90	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83

長岡京市人口の推移 上下水道ビジョン比

単位：人



● 上下水道ビジョン比

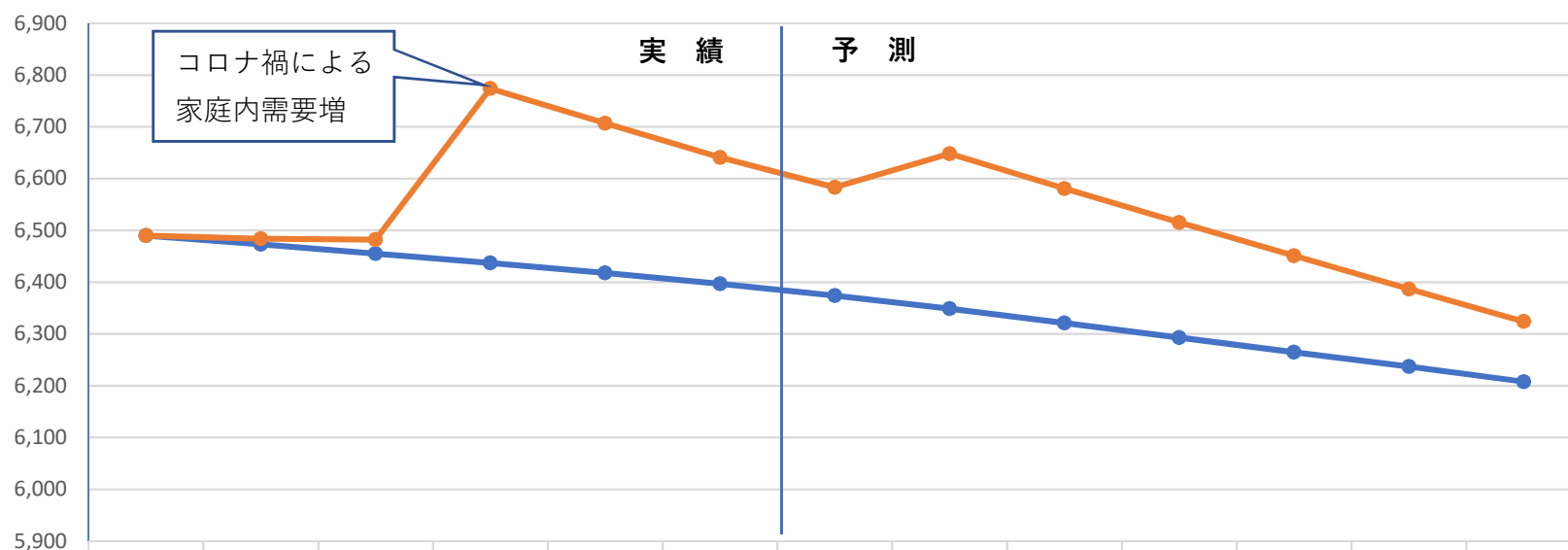
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
差	275人	216人	197人	644人	1,124人	1,499人

● 実績人口前年度比

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
差	64人	△51人	△13人	421人	441人	310人

下水道事業 汚水有収水量の推移（家庭用の実績と将来予測）

単位：千m³



ビジョン計画値	6,490	6,473	6,455	6,437	6,418	6,397	6,374	6,349	6,321	6,293	6,265	6,237	6,208
実績値	6,490	6,484	6,482	6,774	6,707	6,641	6,583	6,648	6,581	6,515	6,451	6,387	6,324

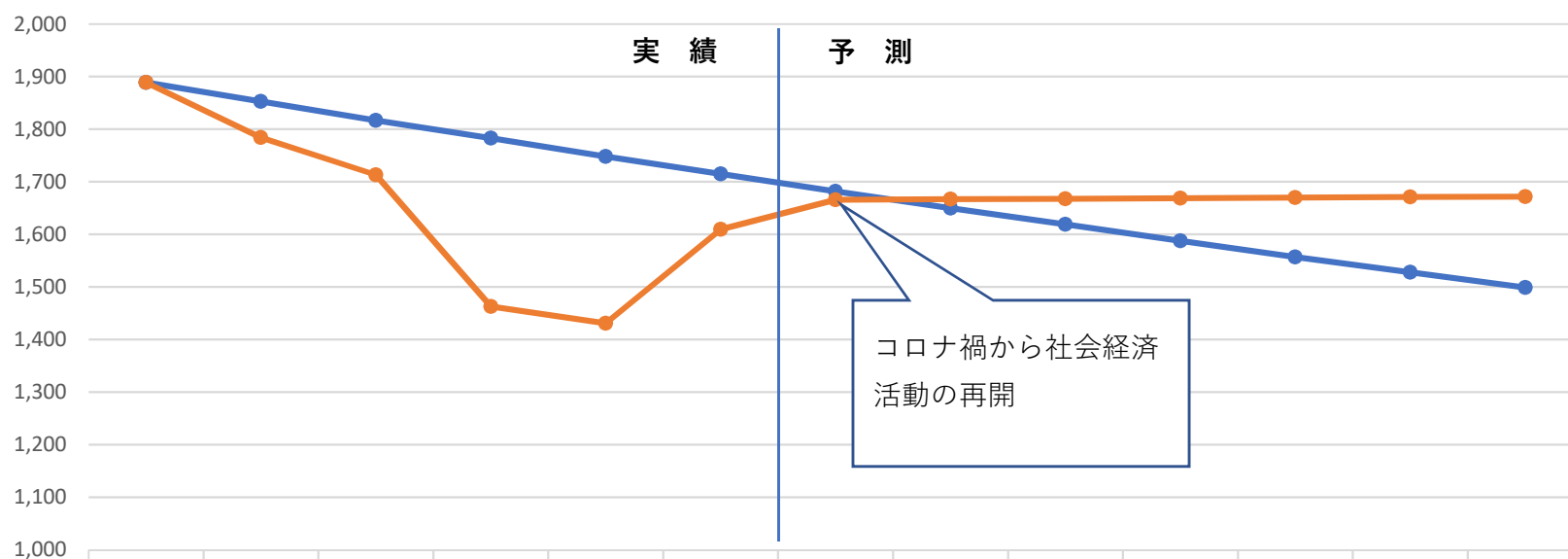
ビジョン計画値 実績値

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
実績等－計画値	27	337	289	244	209	299	260	222	186	150	116

前年度比	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
計画値	-18	-18	-19	-21	-23	-25	-28	-28	-28	-28	-29
実績値等	-2	292	-67	-66	-58	-65	-67	-66	-64	-64	-63

下水道事業 汚水有収水量の推移（工場用の実績・将来予測）

単位：千m³



	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
ビジョン計画値	1,889	1,853	1,817	1,783	1,748	1,715	1,682	1,650	1,619	1,588	1,557	1,528	1,499
実績値	1,889	1,784	1,713	1,463	1,431	1,610	1,666	1,667	1,668	1,669	1,670	1,671	1,672

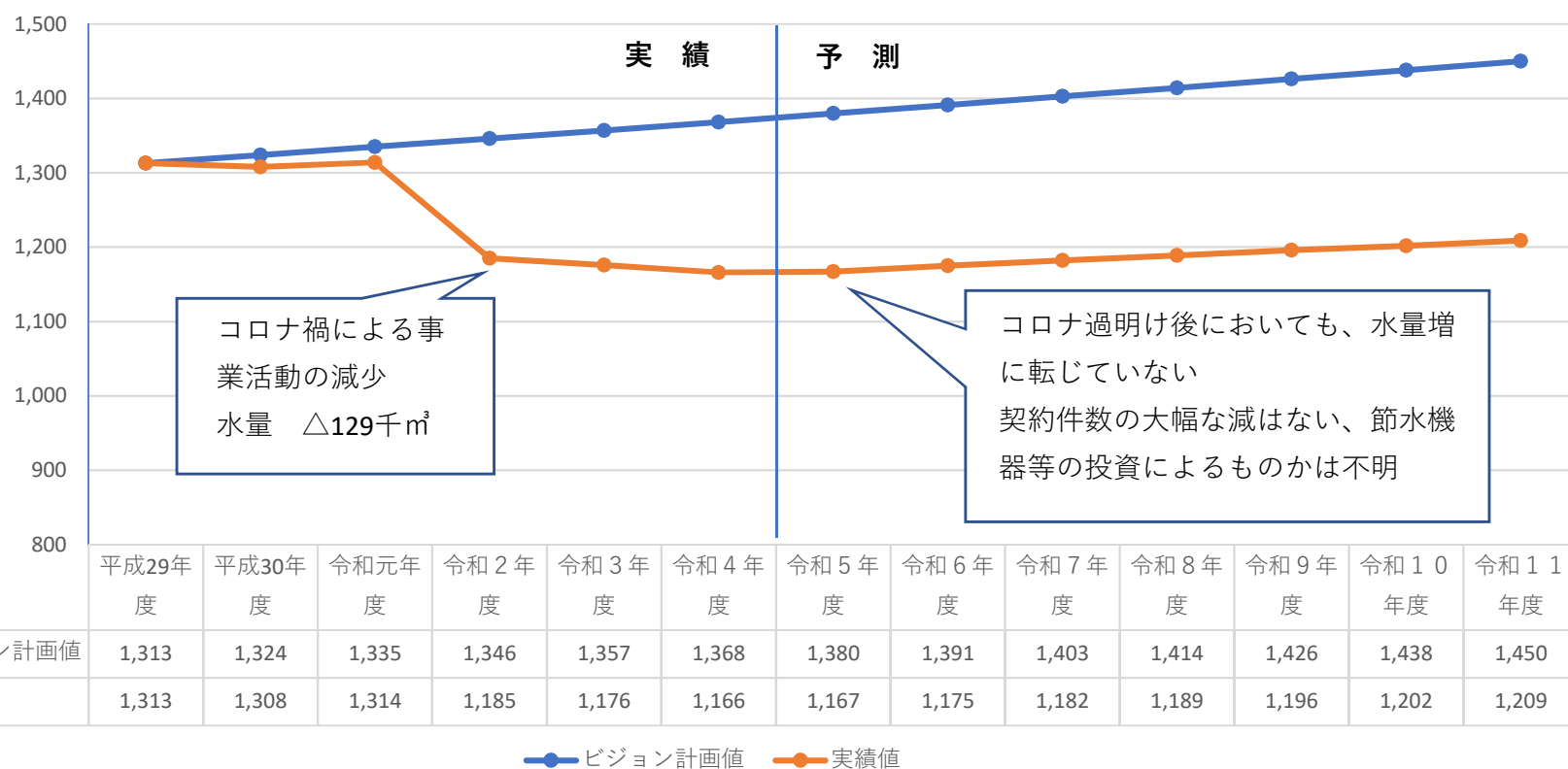
ビジョン計画値 実績値

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
実績等－計画値	-104	-320	-317	-105	-16	17	49	81	113	143	173

前年度比	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
計画値	-36	-34	-35	-33	-33	-32	-31	-31	-31	-29	-29
実績値等	-71	-250	-32	179	56	1	1	1	1	1	1

下水道事業 汚水有収水量の推移（営業用ほかの実績・将来予測）

単位：千m³

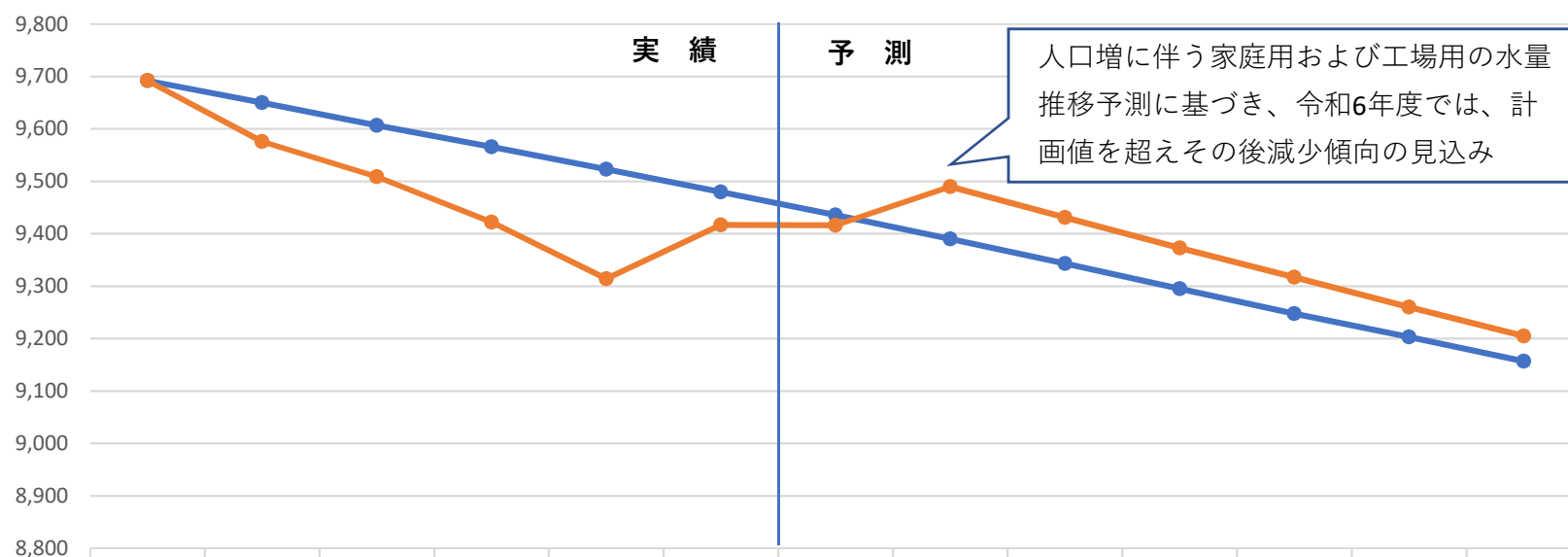


	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
実績等－計画値	-21	-161	-181	-202	-213	-216	-221	-225	-230	-236	-241

前年度比	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
計画値	11	11	11	11	12	11	12	11	12	12	12
実績値等	6	-129	-9	-10	1	8	7	7	7	6	7

下水道事業 汚水有収水量の推移（実績・将来予測）

単位：千円



	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
ビジョン計画値	9,692	9,650	9,607	9,566	9,523	9,480	9,436	9,390	9,343	9,295	9,248	9,203	9,157
実績値	9,692	9,576	9,509	9,422	9,314	9,417	9,416	9,490	9,431	9,373	9,317	9,260	9,205

ビジョン計画値 実績値

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
実績等－計画値	-98	-144	-209	-63	-20	100	88	78	69	57	48

前年度比	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
計画値	-43	-41	-43	-43	-44	-46	-47	-48	-47	-45	-46
実績値等	-67	-87	-108	103	-1	74	-59	-58	-56	-57	-55